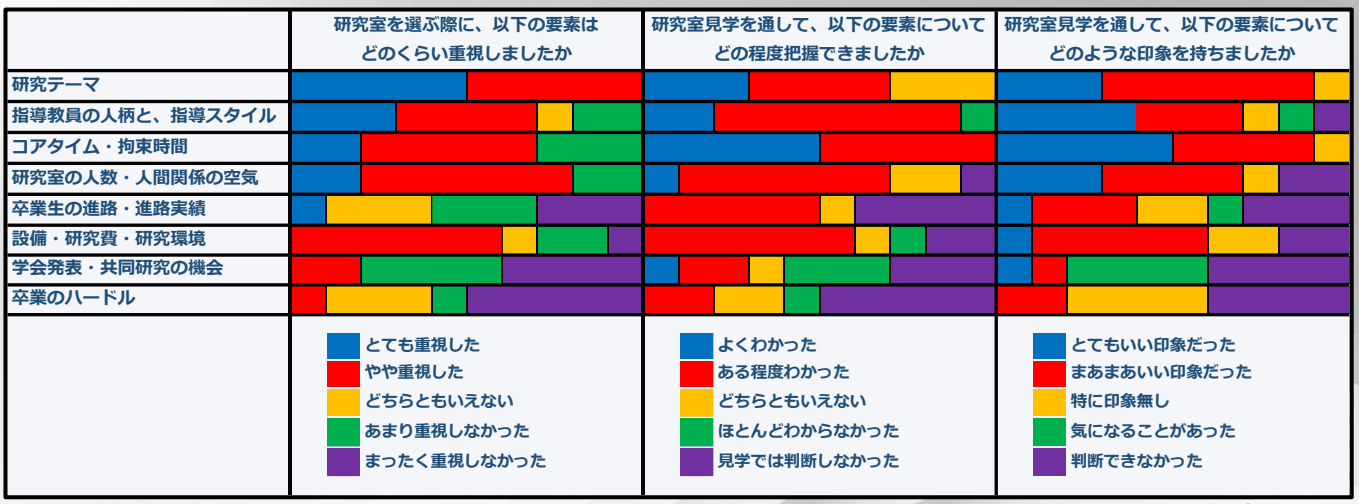
研究室選び―先輩たちの見方は―

LABORATORY SELECTION GUIDE

研究室選びで、先輩たちは何を見て、何を判断したのでしょうか。
研究室見学で分かったこと、分からなかったことは何でしょうか。聞いてみました。

1 先輩たちは何を重視した？研究室見学で何を見た？



名工大の学部4年生・大学院生を対象（N=10）

2 先輩が見てきたことは・見えにくかったことは？

POINT1　よく重視されていたものは、見学でも確認しやすかった

「研究テーマ」「指導教員の人柄と指導スタイル」「コアタイム・拘束時間」「研究室の人数・人間関係の空気」

- 先生の人柄や人間関係は、**研究室の人と接したり、他の研究室から評判を聞いたりすることで、ある程度把握できた。**
- 事実として確認できることは、先生や研究室の学生に聞いて把握した。

POINT2　見学だけでは判断しにくい項目もあった

「卒業生の進路・進路実績」「設備・研究費・研究環境」「学会発表・共同研究の機会」「卒業のハードル」

- これらについては、**詳細に把握しにくい場合がある。**
- 研究室見学の段階では、**研究テーマや設備に関することを細部まで理解しきることがかなり難しい。**
- そもそも、**自分が意識していないことは質問しないし、覚えてもいない。**

POINT3　入ってから分かったこともあった

- 人間関係や研究室の過ごし方は、実際に接してみないと**自分に合っているかどうかが分からない**場合もある。
- **研究テーマの決め方や学会発表/共同研究の機会、求められる卒業論文のページ数**などは研究室によって異なるものもある。
- 当時は意識していなくても、**入ってから「気にしておけばよかった」と気づいた**ものがあった。

3 研究室選び―何を考えればいい？―

POINT1
重視したいことを考えよう

研究テーマ、人間関係、コアタイム、研究環境、就職のしやすさ…

人によって、研究室選びで大切にしたいことは違います。
「自分にとって譲れないこと」は何か考えてみましょう。

POINT2
いろんな方法で情報を集めよう

見学で分かることだけが、研究室のすべてではありません。

先生や学生に踏み込んで聞いてみる、研究室の資料を見る、可能ならゼミや設備を見学させてみるなど、**いろいろな方法で情報を集めてみましょう。**

POINT3
情報を整理しよう

研究室見学を通して**「分かったこと」「分からなかったこと」「もっと確認したいこと」**をまとめてみましょう。

また、**自分の重視したいことと照らし合わせながら、複数の研究室を比べてみましょう(※)。**

(※)例えば、重視したい項目を2つ選んで、縦軸と横軸にして研究室を配置してみる…など

研究室配属は、これまでの大学生活をさらに広げる機会です。

研究内容や過ごし方、人との関わり方など、自分が大切にしたいことを考えて選ぶことが、充実した研究室生活につながります。気になる研究室には実際に足を運び、自分に合ったところを探してみてください。

名古屋工業大学生協・生協上級生委員会